



平成25年5月15日

各位

株式会社T & Dホールディングス
(コード番号 8795 東証・大証第一部)
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成25年3月期決算のお知らせ

T & D保険グループ（T & Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、6兆7,224億円、前年から5.9%の増加。
- 解約失効高は、4兆460億円、前年から5.1%の減少。
- 保有契約高は、59兆2,212億円、前年度末から1.4%の増加。

損益関係（T & Dホールディングス連結）

- 経常収益は、2兆4,189億円、前年から15.0%の増加。
うち保険料等収入は、1兆9,409億円、前年から14.8%の増加。
- 経常利益は、1,516億円、前年から25.5%の増加。
- 当期純利益は、637億円、前年から138.1%の増加。

株主還元

- 1株当たり年間配当金は、22.5円を予定しています。
- 自己株式の取得を30億円を上限に実施いたします。

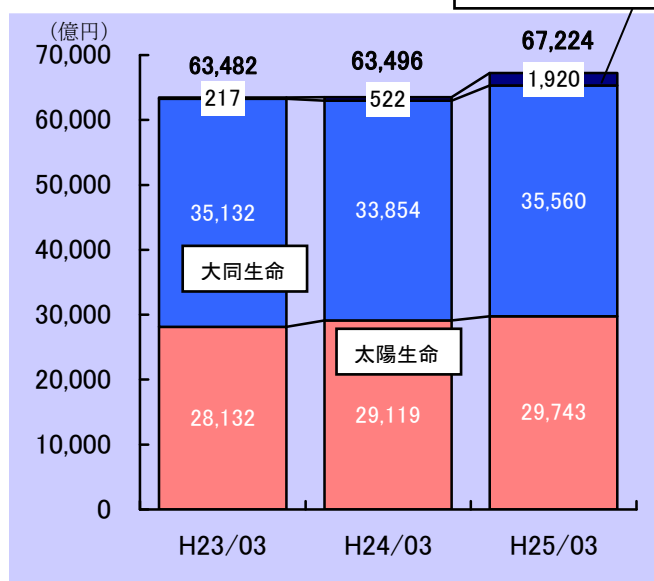
以上

【お問合せ先】

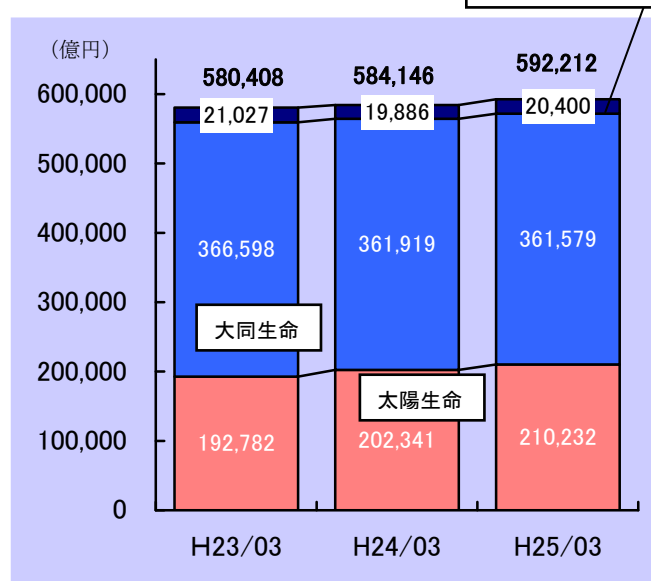
株式会社T & Dホールディングス	広報部	今井・佐藤	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	寺島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T & Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	67,224	3,728 増 (5.9%増)	29,743	623 増 (2.1%増)	35,560	1,705 増 (5.0%増)	1,920	1,398 増 (267.9%増)
解約失効高 (解約失効率)	40,460	2,155 減 (5.1%減)	12,362	140 増 (1.1%増) (0.23ポイント低下)	27,131	2,338 減 (7.9%減) (0.54ポイント低下)	966	43 増 (4.7%増) (0.47ポイント上昇)
新契約年換算保険料	1,642	335 増 (25.7%増)	777	141 増 (22.2%増)	716	83 増 (13.2%増)	148	110 増 (295.5%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	156	23 増 (17.2%増)	60	4 減 (6.5%減)	95	27 増 (39.6%増)	0	0 増 (約19倍)

(注) 新契約高には転換による純増加高を含んでいます。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約高	592,212	8,065 増 (1.4%増)	210,232	7,890 増 (3.9%増)	361,579	339 減 (0.1%減)	20,400	514 増 (2.6%増)
保有契約年換算保険料	14,477	456 増 (3.3%増)	6,356	286 増 (4.7%増)	6,367	132 増 (2.1%増)	1,753	37 増 (2.2%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,609	4 増 (0.3%増)	1,004	40 減 (3.9%減)	568	48 増 (9.4%増)	37	3 減 (9.3%減)

■ 3社単純合算

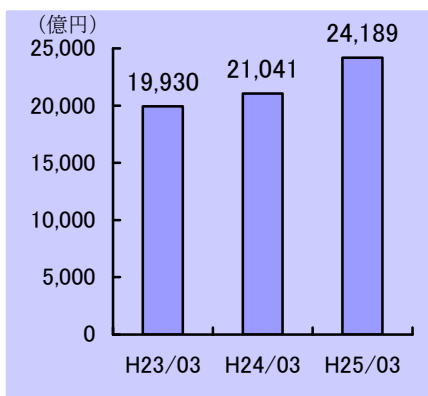
- ・新契約高は、6兆7,224億円、前年から5.9%の増加。
- ・解約失効高は、4兆460億円、前年から5.1%の減少。
- ・保有契約高は、59兆2,212億円、前年度末から1.4%の増加。

■ 各社の状況

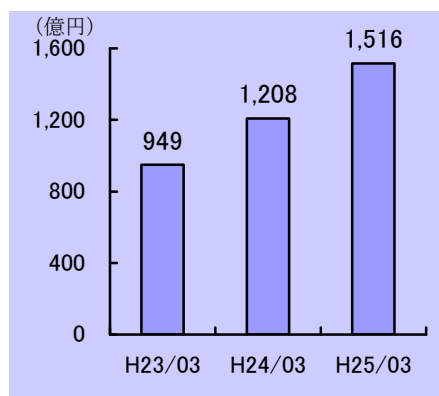
- ・太陽生命の新契約高は、2兆9,743億円、前年から2.1%の増加。
また、保有契約高は、新契約の増加と解約失効率の低下により21兆232億円、前年度末から3.9%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、3兆5,560億円、前年から5.0%の増加。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額4,364億円（前年から55.2%の増加）を加算した金額でみた場合、3兆9,925億円、前年から8.9%の増加。
また、同じ基準でみた保有契約高は、36兆9,332億円となり、前年度末から1.0%の増加。
※「Jタイプ」は普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は1,920億円、前年から267.9%の増加。
これは主に、「生涯プレミアム・ジャパン（定額一時払終身保険）」の販売増加による。

[損益関係]

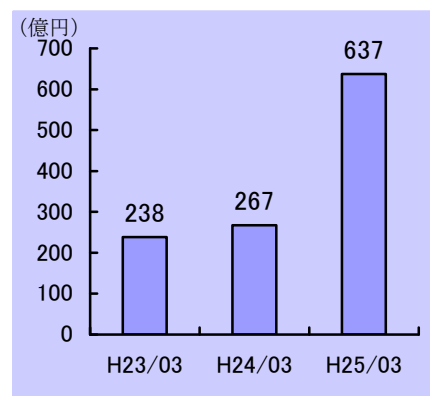
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	24,189	3,148 増 (15.0%増)	12,295	1,078 増 (9.6%増)	8,840	505 減 (5.4%減)	2,886	1,690 増 (141.3%増)
うち保険料等収入	19,409	2,496 増 (14.8%増)	10,183	1,149 増 (12.7%増)	7,245	43 増 (0.6%増)	1,967	1,300 増 (195.0%増)
うち資産運用収益	4,029	779 増 (24.0%増)	1,876	55 減 (2.9%減)	1,425	247 増 (21.0%増)	789	588 増 (292.1%増)
うち 利息及び配当金等収入	2,657	219 増 (9.0%増)	1,456	90 増 (6.6%増)	1,159	115 増 (11.1%増)	55	12 増 (29.8%増)
うちその他経常収益	750	127 減 (14.5%減)	235	15 減 (6.0%減)	169	796 減 (82.5%減)	129	198 減 (60.6%減)
うち 責任準備金繰入額	—	— (—)	—	— (—)	—	685 減 (—)	—	208 減 (—)
経常費用	22,672	2,840 増 (14.3%増)	11,607	997 増 (9.4%増)	8,163	573 減 (6.6%減)	2,748	1,528 増 (125.2%増)
うち保険金等支払金	13,435	1,812 減 (11.9%減)	6,548	596 減 (8.3%減)	5,692	1,341 減 (19.1%減)	1,188	123 増 (11.6%増)
うち 責任準備金繰入額	5,122	4,490 増 (711.0%増)	3,165	1,641 増 (107.7%増)	759	759 増 (—)	1,195	1,195 増 (—)
うち資産運用費用	1,183	78 増 (7.1%増)	479	122 減 (20.3%減)	547	49 増 (10.0%増)	205	153 増 (296.5%増)
経常利益	1,516	307 増 (25.5%増)	688	81 増 (13.3%増)	676	67 増 (11.1%増)	137	161 増 (—)
特別利益	2	1 減 (29.9%減)	1	1 増 (—)	0	2 減 (84.9%減)	—	— (—)
特別損失	277	89 増 (47.6%増)	149	1 増 (0.9%増)	112	84 増 (307.6%増)	14	7 増 (100.5%増)
契約者配当準備金繰入額 (△繰入額)	311	7 増 (2.5%増)	169	7 増 (4.5%増)	142	0 増 (0.1%増)	△0	0 増 (89.6%減)
税引前当期純利益	930	209 増 (29.1%増)	370	74 増 (25.0%増)	422	19 減 (4.4%減)	123	154 増 (—)
法人税等合計	290	159 減 (35.5%減)	114	70 減 (38.3%減)	133	118 減 (47.0%減)	34	29 増 (529.5%増)
当期純利益	637	369 増 (138.1%増)	256	144 増 (130.5%増)	288	99 増 (52.3%増)	88	125 増 (—)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	2,165	145 増 (7.2%増)	1,396	66 増 (5.0%増)	854	178 増 (26.4%増)	△72	100 減 (—)
--------------------	-------	------------------	-------	-----------------	-----	-------------------	-----	--------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆9,396億円（前年比14.7%増）です。
3. 特別損失（277億円）のうち248億円は、価格変動準備金への繰入れ額です。（太陽生命:143億円、大同生命:104億円、TDF生命:0億円）
4. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、2兆4,189億円、前年から15.0%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **経常利益**は、1,516億円、前年から25.5%の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で利息及び配当金等収入が増加したこと、並びにT & Dフィナンシャル生命で相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **当期純利益**は、637億円、前年から138.1%の増加。
これは主に、経常利益が増加したこと、および前年には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったことによる。なお、当期純利益については過去最高益となった。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、1兆2,295億円、前年から9.6%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1兆183億円、前年から12.7%の増加。
これは主に、銀行窓販等による。
- ・ **経常利益**は、688億円、前年から13.3%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、256億円、前年から130.5%の増加。
これは主に、経常利益が増加したこと、および前年には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、8,840億円、前年から5.4%の減少。
これは主に、責任準備金が前年の戻入れから繰入れになり、その他経常収益が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、7,245億円、前年から0.6%の増加。
- ・ **経常利益**は、676億円、前年から11.1%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、288億円、前年から52.3%の増加。
これは主に、経常利益が増加したこと、および前年には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったことによる。

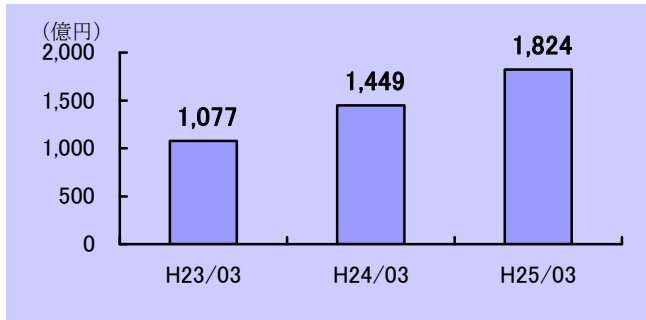
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,886億円、前年から141.3%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,967億円、前年から195.0%の増加。
これは主に、定額一時払終身保険の販売増加による。
- ・ **経常利益**は、137億円、前年から161億円の改善。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **当期純利益**は、88億円、前年から125億円の改善。
これは主に、経常利益の改善による。

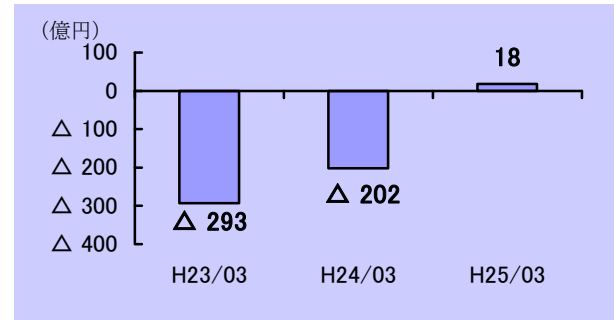
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,824	375 増 (25.9%増)	672	96 増 (16.7%増)	846	21 増 (2.6%増)	306	257 増 (529.8%増)
逆ざや額 (正値の場合は順ざや額)	18	221 改善	20	85 改善	23	134 改善	Δ25	1 改善

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,824億円、前年から375億円の増加。
- ・ **順ざや・逆ざや**の状況は、前年の202億円の逆ざやから、18億円の順ざやとなった。
これらは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、672億円、前年から96億円の増加。
順ざや・逆ざやの状況は、前年の65億円の逆ざやから、20億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
なお、基礎利益については過去最高益となった。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、846億円、前年から21億円の増加。
順ざや・逆ざやの状況は、前年の110億円の逆ざやから、23億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、306億円、前年から257億円の増加。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金戻入額が増加したことによる。
逆ざや額は、25億円、前年から1億円の改善。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	—	—	823.4%	76.1pt 上昇	1,043.2%	191.3pt 上昇	648.4%	94.7pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	943.8%	133.2pt 上昇	829.7%	70.7pt 上昇	1,050.4%	192.1pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

■ T & Dホールディングス連結

- ・連結ソルベンシー・マージン比率は、943.8%。

■ 各社の状況

- ・太陽生命のソルベンシー・マージン比率は、823.4%、前年度末から76.1ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上および負債内部留保の積み上げ、並びにその他有価証券の評価差額が増加したことによる。
- ・大同生命のソルベンシー・マージン比率は、1,043.2%、前年度末から191.3ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上および負債内部留保の積み上げ、並びにその他有価証券の評価差額が増加したことによる。
- ・T & Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率は、648.4%、前年度末から94.7ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上による。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T & Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T & Dフィナンシャル生命(単体)	
	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減
実質純資産	19,228	5,451 増	8,762	2,986 増	8,852	2,155 増	1,260	299 増

■ T & Dホールディングス連結

- ・連結実質純資産は1兆9,228億円、前年度末から5,451億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加、および当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げによる。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の実質純資産は、8,762億円、前年度末から2,986億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加、および当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げによる。
- ・大同生命の実質純資産は、8,852億円、前年度末から2,155億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加、および当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げによる。
- ・T & Dフィナンシャル生命の実質純資産は、1,260億円、前年度末から299億円の増加。
これは主に、有価証券差損益の増加および当期純利益の計上による。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減	当事業年度末	前年度末増減
有価証券の差損益 (一般勘定)	8,349	4,485 増	5,267	2,770 増	2,772	1,515 増	309	198 増
うち公社債	4,592	2,287 増	2,530	1,167 増	1,753	922 増	308	197 増
うち株式	1,997	1,016 増	1,338	688 増	659	327 増	—	—
うち外国証券	1,482	1,024 増	1,260	847 増	221	176 増	—	—
うちその他の証券	99	113 増	57	51 増	42	61 増	—	—
うち金銭の信託	6	9 増	—	—	5	8 増	1	1 増
うち買入金銭債権	170	33 増	80	15 増	89	18 増	—	—
土地等の差損益	167	3 増	0	7 増	166	4 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。
2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています。

<市場整合的エンベディッド・バリュー（MCEV）>

当グループでは、平成19年3月末よりE E Vを開示して参りましたが、今回、E V開示の充実を図るとともに、経済価値ベースのリスク評価を反映した「市場整合的エンベディッド・バリュー（MCEV）」を開示することとしましたのでお知らせいたします。

※ MCEVについては本日添付しております速報版のニュースリリース、および5月21日（火）開示予定のニュースリリース（確定版）をご参照下さい。

（単位：億円）

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
MCEV	16,644	1,213 増	6,370	816 増	9,235	270 増	775	126 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	616	66 減	132	82 減	454	12 減	29	28 増

■ T & D 保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、1兆6,644億円と、前年度末から1,213億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(16,380億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(264億円)」の合計額です。
新契約価値は、616億円、前年から66億円の減少。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、6,370億円、前年度末から816億円の増加。
新契約価値は、132億円、前年から82億円の減少。
- ・ **大同生命のMCEV**は、9,235億円、前年度末から270億円の増加。
新契約価値は、454億円、前年から12億円の減少。
- ・ **T & D フィナンシャル生命のMCEV**は、775億円、前年度末から126億円の増加。
新契約価値は、29億円、前年から28億円の増加。

[平成26年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	平成25年3月期実績	平成26年3月期予想
経常収益	24,189	21,200 程度
経常利益	1,516	1,650 程度
当期純利益	637	660 程度

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社（単体）の平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,700 程度	8,700 程度	3,400 程度
経常利益	720 程度	750 程度	160 程度
当期純利益	260 程度	280 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社 3 社の平成 26 年 3 月期通期見通し

(単位：億円)

	3 社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,570 程度	680 程度	820 程度	70 程度
保険料等収入	17,400 程度	7,800 程度	7,300 程度	2,300 程度
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	70 程度	60 程度	30 程度	△20 程度
新契約高	66,500 程度	30,400 程度	33,400 程度	2,700 程度
保有契約高	596,400 程度	218,300 程度	359,100 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.9%程度	7.5%程度	3.5%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命の契約高に関して、「J タイプ (無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した金額は、次の見通しです。「J タイプ」は普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。

新契約高 : 3 兆 8,300 億円程度

保有契約高 : 37 兆 1,100 億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

(参考) 契約者配当

○太陽生命

- ①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。
- ②団体保険 前年度配当率を据え置きます。
- ③団体年金保険 前年どおり、0.25% (一部商品については 0.50%) の利差配当を実施します。

○大同生命

- ①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。
- ②団体保険 前年度配当率を据え置きます。
- ③団体年金保険 責任準備金に対して 0.05%の利差配当を実施します。(前年度はゼロ)

○T&Dフィナンシャル生命

- ・前年度に引き続き割り当てはありません。

以 上